

咲き誇った「桜梅桃李」～第78回 体育大会開催～

5月9日(土)、爽やかな五月晴れのもと「第78回 呉市立安浦中学校 体育大会」を開催いたしました。今年度は「学年を超えた交流と協力」「生徒主導の協働」を柱に、生徒一人一人が主体的に創り上げる大会を目指しました。

1. 圧巻の「集団の力」と「縦のつながり」

各学年の趣向を凝らした学年種目や、全員リレーでの力走はもちろん、会場を沸かせたのは「縦割り集団」の絆です。赤白対抗の綱引き、そして声を掛け合い限界まで跳び続けた大縄跳び。そこには、一人の力ではなく、集団として協力することで絆を強固にしようとする、生徒たちの熱い思いがあふれていました。今日、安浦中学校には最高の「色別集団」が誕生しました。



2. 全力を尽くす喜びと「個の輝き」

手に汗握る「赤白選手リレー」や、規律正しく堂々とした入場行進。どの場面においても、各自の特性に合わせて全力を尽くす姿が見られました。「これ以上何も出せないといえるまで、力を出し切る」という朝の約束を、生徒たちは見事に果たしました。各自が自分の限界に挑み、力を出し切ったあとの心地よい疲労感と達成感に満ちた表情は、何物にも代えがたい財産です。



3. 新たな伝統の第一歩「主体的な応援合戦」

今年度、最大の挑戦となったのが赤白色別リーダー主導による「応援合戦」です。リーダーを中心にゼロから企画し、壁にぶつかりながらも教職員と共に汗を流して創り上げました。

まさに、今年度の生徒会スローガン「桜梅桃李（おうばいとうり）」のごとく、誰一人として同じではない個性がグラウンドいっぱいに咲き誇りました。自ら考え、行動し、一つのを創り上げる「協働の喜び」を体現したこの姿こそが、安浦中学校の新たな誇りです。



4. 努力を成長の糧に

閉会式での生徒たちの表情を見れば、努力することを楽しみ、成長し続けた一日であったことは明らかです。この大会を通じて得た自信と仲間との絆は、今後の学校生活において大きな力となるでしょう。

最後になりましたが、温かい声援を送ってくださった保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。安浦中学校の「一生懸命」を、これからも伝統として繋いでまいります。

